

事務事業マネージメントシート

作成日 平成31年 05月 07日

事務事業名	栃木県防犯協会幼児誘拐防止活動参画事業				担当	市民生活部 市民生活課 市民生活係									
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり				増補版施策名									
施策名	9	防犯対策の推進				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業									
関連個別計画						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ								
法令根拠	真岡市安全で安心なまちづくり条例						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成6年度~)								
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	13.諸費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)										
事業概要	栃木県防犯協会が実施している幼児誘拐防止活動へ参画している。市は負担金を支出し、広報車派遣申し込み取次ぎを行っている。幼児誘拐防止活動事業は、県内幼稚園、保育所を通じて幼児誘拐防止の指導をしており、誘拐防止広報車(まもる号)が、県内幼稚園、保育所等を巡回して、子どもたちに不審者への対応や誘拐防止の心構えなどを、ぬいぐるみや劇を通して指導している。小学生へは、パンフレット等による広報活動を行っている。														

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 30年度実績 協会へ負担金の支出、広報車の派遣申し込み取次ぎ	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
31年度計画 30年度と同じ	ア:負担金の額	千円	293	293	293	289	364
	イ:誘拐防止広報車(まもる号)の指導回数	回	9	9	9	10	8
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然资源等 児童、幼稚園児、保育園児	ウ:						
	エ:						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 児童等が誘拐などの犯罪に巻き込まれないように啓発する。	オ:						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 安全安心のまちづくり	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア:児童(小1~小4)、園児の数	人	5,280	5,113	4,786	4,767	4,690
⑤上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	イ:						
	ウ:						
⑥成績指標(対象における意図された対象の程度)の推移	エ:						
	オ:						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	財源内訳	県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	293	293	293	289
	事業費計(A)	千円	293	293	293	289	364
人 件 費	正規職員従事人數	人	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	4	4	4	4	4
	人件費計(B)	千円	17	17	17	17	17
トータルコスト(A)+(B)			310	310	310	306	381
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		誘拐等の犯罪から児童を守るための対策として、県防犯協会による誘拐防止事業に参画した。					
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		依然として、児童・児童に対する連れ去り未遂やワイセツ行為、不審者の出没等が発生している。 平成17年に起こった今市での児童連れ去り殺人事件以降、地域ボランティアによる防犯パトロールなど、子どもを事件から守るための活動が市内一円で実施されている。					
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?		広報車派遣要望が、多く寄せられている。					